



Contents

下関港西山地区

西山地区岸壁のリニューアル
木質バイオマス発電所の進捗状況
岸壁整備による効果

リニューアルした西山地区岸壁（令和3年3月撮影）

下関港海岸

下関港海岸（浜浦地区）の完成

トピックス

下関港海岸現場見学・意見交換会の開催
水際・防災対策連絡会議の開催
下関港クルーズセミナー2021の開催



完成した下関港海岸（浜浦地区）（令和3年2月撮影）

下関港西山地区

西山地区岸壁のリニューアル

彦島の西山地区岸壁（水深12m）の補修工事は、平成26年度（2014年）から開始し、令和3年（2021年）3月に全ての工事が完了しました。

〔事業名〕 予防保全事業 〔全体事業費〕 14.55億円

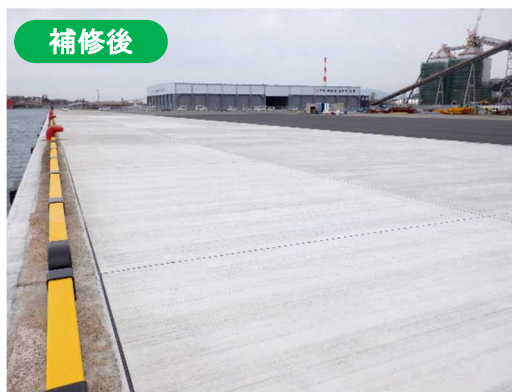
〔補修内容〕

- 岸壁エプロンのひび割れ ⇒ エプロン下の地盤改良とコンクリート舗装
- 防舷材、車止めの老朽化 ⇒ 取替
- 係船柱のサビ ⇒ サビ除去、塗装塗り替え



補修前

エプロン（ひび割れ、空洞化）



補修後

エプロン（地盤改良、コンクリート舗装）



木質バイオマス発電所の進捗状況

令和3年（2021年）3月、現在建設中の木質バイオマス発電所の建設現場を見学しました。

発電所建設現場では、ボイラー（高さ59m）燃料貯蔵サイロ（6,000ト×2基）、タービン建屋、冷却塔など発電所にかかる様々な建物が建設中であり、間近で見ると大変迫力があります。

また、岸壁背後では、下関海陸運送(株)による燃料倉庫が稼働予定です。

発電所の概要

敷地面積	約45,000㎡
発電出力	74,980kW（一般家庭 約14万世帯分）
ボイラー	循環流動層ボイラー
燃料	木質ペレット、PKS（パーム椰子殻）、国産チップ
年間燃料使用量	約31万～34万t/年
CO ₂ 排出抑制効果	34万t/年の削減（対化石燃料比）



建設中のバイオマス発電所



稼働予定の燃料倉庫



建設中のボイラー



下関バイオマスエナジー合同会社
中村建設所長

〔利用者の声〕

西山地区は、全国から適した土地を探す中で、バイオマス発電所の立地に優位な条件（広大な用地、大水深岸壁との隣接、工業用水の取得、高压の送電線との接続の容易さ）を全て備えていたことが選定の決め手となりました。

発電所の建設現場の隣で、国も岸壁の補修工事を行っており、日々進捗しているのを見てきました。岸壁がリニューアルされ、今後、発電燃料である木質ペレットの輸入拠点として利用させていただけることに感謝しています。

岸壁整備による効果

西山地区の公共岸壁（水深12m）は、昭和63年（1988年）に原木の輸入拠点として供用開始し、現在は製材（移入）や石膏（輸入）などが取り扱われています。

岸壁のリニューアルにより、岸壁利用制限の解消に伴う荷役効率化が図られ、従来の貨物に加え、新たに発電所の燃料である木質ペレットの輸入拠点（取扱貨物量約30万トン）として更に利用されていく予定です。

〔整備効果〕

発電所関連の民間投資額 約300億円
新規雇用数 約30人（常時）



完成イメージ

出典) 九電みらいエネルギーHPより

<西山地区岸壁(水深12m)の歴史>

昭和55年	岸壁工事着手(物資別専門埠頭(木材))
昭和62年	岸壁完成
昭和63年	岸壁供用開始
平成26年	岸壁リニューアル工事開始
平成30年	木質バイオマス発電所が進出表明
令和3年3月	岸壁リニューアル工事完了
令和3年7月	木質バイオマス発電所試運転開始予定
令和4年1月	木質バイオマス発電所営業開始予定



埋立中の西山埠頭(昭和61年2月)



原木の荷役状況(平成19年)



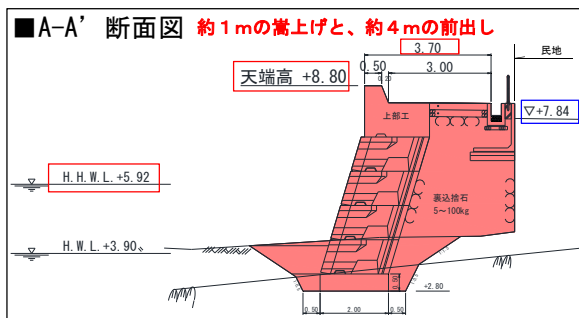
製材の荷役状況(平成23年)

下関港海岸

下関港海岸（浜浦地区）の完成

下関港海岸（浜浦地区）の高潮対策工事（延長346m）は、令和元年度（2019年）から着手し、令和3年（2021年）3月に完成しました。

既設護岸を約4m前出し、高さを約1mかさ上げすることで、高潮を防ぐ構造になっています。



整備前



浜浦地区 346m



整備後

トピックス

下関港海岸現場見学・意見交換会の開催

令和3年1月29日、下関市の港湾に詳しい市民の方々を招き、下関港海岸の今後の整備箇所（前田－高場地区、黒門－黒門南地区）などを見学し、その後、下関港や下関港海岸の将来像についての意見交換会を開催しました。

海岸については、狭い歩道の拡幅による唐戸～長府の回遊性の確保や関門海峡の景観をゆっくりと眺めることの出来るスペースの確保など、今後の整備の参考となる意見を多数頂きました。

ご意見を踏まえ、海岸整備に活かすべく検討を進めていきます。



現場見学会の様子



意見交換会の様子

水際・防災対策連絡会議の開催

令和3年3月12日、九州地方整備局管内の国際拠点港湾及び重要港湾において、関係する行政機関及び関係団体が参画し、水際・防災対策に関する情報の共有や所要の対策についての連絡調整を円滑に進めるため、「水際・防災対策連絡会議」をWeb会議方式にて行いました。

会議では、福岡市の本局港湾空港部をキーステーションとし、国土交通省港湾局と九州各港を繋ぎ、港湾における防災・減災対策、クルーズ船対応、感染症BCPの策定などについて、情報共有を図りました。今後も、下関港における水際・防災対策の強化に取り組みます。



会議の様子

下関港クルーズセミナー2021の開催

令和3年3月20日、下関港湾協会、下関市、山口県の共催で、「下関クルーズセミナー2021」が開催されました。

セミナーでは、沖田一弘氏による「クルーズと地域振興」、オリビエロ モレリ氏による「クルーズの魅力」の基調講演が行われ、その後、国内・海外クルーズ船社社長らによる「クルーズの安全性と地域の役割」についてのパネル討論会が行われました。

討論会では、ウィズコロナの中、クルーズが地域で受け入れられるために港・船社・寄港地に何が出来るのかを考えるにあたり、各船社による国のガイドラインに基づいた船内での多様な感染症対策や、寄港地観光での感染しない・させない安全対策、寄港地としての下関港の魅力などについての活発な意見交換がなされました。

当日は約80名が参加し、オンラインで約280名がLIVE聴講するなど、クルーズ振興についての期待の高さを感じました。



パネル討論会の様子



PRブースでのクルーズ船の紹介



国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291 FAX (083) 261-1123
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00 (土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

